

23 年度第 4 回 運営推進会議議事録

平成 23 年 11 月 8 日

記録 齊藤

参加者

七飯町長	中宮町長
保健福祉課課長	與田様
保健福祉課係長	笠原様
企画財政課政策推進室長	星村様
緑町 町内会長	首藤様
副町内会長	松木様、岡田様
事務局長	神崎様
長寿会	伊藤様、北見様
「おかいものバス」利用者	佐藤様、藤本様、鈴木様
函館新聞記者	鈴木様
ご家族	岡様、中島様
スタッフ	中村、若狭、松村、久貴谷、齊藤、石井

中宮町長 挨拶

久貴谷：お買い物バスを 8 月～10 月の 3 ヶ月間試行した。初めて参加して頂いている方もいるので説明。緑町の高齢化が進み、買い物に不便を感じている、坂も多いし、スーパーも遠いということで町内会に協力してもらい、アンケートを行った。

6/21 の運営推進会議で 3 ヶ月の運行が決定し、緑町で試験的に行い、他の地域にも浸透していければという事で行った。自分もバスに乗車して、地域の方と話しをする機会があったので楽しめた。お買い物バスに登録し、実際に利用して頂いた方に来てもらっているので話を直接伺いたい。

佐藤様：毎月使わせてもらったが大変助かった。今まで、重いものは大変だし、どうしようもないと思いハイヤーを使っていた。お買い物バスがあると本当に便利。10 月で終わると思い、10 月はビン類等の重いものを一生懸命買った。持てなくてもスタッフの方に持ってもらい大変助かった。

藤本様：とても助かった。11 月もやってほしい。

鈴木様：毎月乗車させてもらい、とても助かった。生協とかの宅配等もあるけど目で見
て選び買えるという事が嬉しかった。今後も続けてもらいたい。

久貴谷：今後は今の所白紙のだが、今後実績のある所に委託という意見や、色々な地域で
浸透させていければという意見もある。

星村様：ボランティアとして地域に貢献できたので大変良かった。ハッピーさんが地域と
交流する場も出来たし、コミュニティが出来て大変良かった。行政としては七飯
町の財政を考えると継続は難しい。ハッピーさんの活動として依頼関係を築いて
いければと思うが。

笠原様：生協やセブンイレブンで宅配サービスをやっているが目で見ても商品を選べるとい
うのが良いという事があったし、重いものを運んでもらえる、お金もかからない
のがメリット。

首藤様：前回の会議でも話したが、七飯の中で緑町の高齢化が高い。地元の高齢者とどう
やって助け合っていくかが大きな役割となり、広まっていけば助かる。出来るな
らば何らかの形で継続してほしいが、ハッピーさんに迷惑をかけてしまうのは心
苦しい。

北見様：高齢者が 1 番困るのは足の確保。お買い物のお手伝いは大変ありがたい。買
い物に行く事も大切だが、近くにお店があることも大切だと思う。買い物バスが根
付くのはありがたいが、それに頼ってはいけないという気持ちもある。今回参加さ
せてもらってバスを利用する方の声も聞けたし、これから冬になるので続けても
らえればありがたい。

伊藤様：私たちは病院に行くのが大変。病院のバスがあると、そのついでに近くのロー
ンで買い物することがあるが、皆同じ考えで、その店に集中する。一人で居る方
で病院に行かない人がいるのでそういう方にも声をかければもっと利用する人が
増えたかも。宣伝が足りなかったのではないかと思う。

與田様：今回のアンケートを行って、皆さんの意見と同じ回答が出た。高齢者が大変なのは
雪おろし、お買い物に不便を感じるという意見。お買い物は全体の 10% くらい
の回答が出た。お買い物は福祉の今後の課題になってくると思う。お互いに助け
合っていく必要がある。障害を持った方は JR は半額で乗れるというのもあり、
公共交通機関を利用した取り組みを費用の問題も考えて色々検討する必要がある。

岡田様：今回、初めて会議に参加したが、七飯町は安心、安全の町を目指している中、この企画を行った事はすごい事だと思った。高齢者や足が不自由な方だったり、安心して生活出来る環境が不自由。先ほども話あったが自分の目で見て選べるというのは大事。独り暮らしの方等、他者と関わりのない方への交流の機会と作る事が有効になると思う。色々な方と交流を持つ事は高齢者にとっても元気を与える。何でもやるのではなく、出来る事は自分でやる。出来ない事へ若干手を差し伸べるという事が出来ていたのではないか。他の交通機関への利用活用への支援も勧めてほしい。続けてやって欲しいと言う意見が出ている中で今後、町としてどうするか聞きたい。

星村様：七飯町は公共交通機関（JR、函バス、タクシー等）の団体があり、公共交通活性化協議会という会議で何度も話し合っていた。1番ネックなのは、経費の問題。1千万円以上かかるのでコミュニティバスについては話が止まっている。しかし、これで終わりと言う訳ではなく、2つの意見があがっている。1つは地域の住民の利用ニーズにあった、自主運行。2つ目は、地域内限定のタクシーサービス。たくさんの方が1台に乗って経費削減。皆さんの意見は便利だという意見が多いのは充分理解しているが色々問題もある為行政も検討しなければならない。

岡田様：話を聞いて難しいというのは分かったが、取り組みをして、利用した人の意見として続けてほしいという声が多い。利用者さんの気持ちになって今後考えてほしい。

星村様：ハッピーさんの取り組み、皆さんの意見を聞いて協議会で話し合いたい。

神崎様：私も今回初参加。今回の活動は大変すばらしいと思う。3人の体験談を聞いてハッピーさんの取り組みにはすばらしいと感じた。運行するとなると経費がかかるが色んなものを除外して協力している。これをひとつの規定として、高齢者を集めてどう活用していくか、町として検討しなければならない。

松木様：大変ありがたい事だが難しい事でもある。民間の会社では損失がある。社協のなかよし号を利用してなんとかやっていければ1番良いが2台しかなく、温泉もあるので活用できない。お金もかかる。利用する人も負担していかないと続かないがハッピーさんがお金をもらう訳にいかないから難しい。この問題は結局お金が1番ネック。ハッピーさんは結果を見てどう思うか。

中 村：やってよかった。地域作りをしっかりとやっておけば良かったと反省している。枠にはまった政策のみ。個々の具体的な事が分からない。震災の影響を受けた人は仮設住宅に住んでいて、地域作りをしていると誰がどこの病院に行っているか、誰がどうゆう人かが分かる。ボランティアバスやって 1 番大切なのはコミュニティの場。社協や老人クラブ等、コミュニティの場は沢山あるがいけない人も居る。介護予防にもなる。緑町は国道まで行かないとバスが通ってない。国道まで上がるのが坂も多いので大変だが、バスに乗れるならお買い物も出来る。お金も大切だが、地域の方の意見を聞いて考えていきたい。冬場、やってほしいという意見も出ている。冬場はアイスバーンになったりリスクもある為、運行は充分注意。12月～2月の3ヶ月間2週間に1回、やらせてもらいたい。町長に意見を聞いて頂いて、夏と冬に運行した結果を町に伝え、考えて頂きたい。やるだけやって町にぶつけたい。

松木様：大変ありがたい。

岡田様：これから他の地域にという話があったが。

中 村：会社で運営しているGHのある大沼、緑町、鳴川のエリアしか考えていない。その他でやる事は考えていない。

岡田様：足がないとかじゃなく、高齢者の方が楽しめないと続かない。人との交流を持つ機会になればと思う。出来ない事に対してさりげなく手を差し伸べるのが福祉ではないか。

星村様：1度バスに乗車させて頂いたが、コミュニティの素晴らしい場だと思った。

中 村：要介護者も緑町は増えてきている。もっと柔軟な対応をしている所もあるので、お金がないならないなりに何か出来ないか皆で意見を出し合い、方法を考えていきたい。

中宮様：大変、難しい問題だと思う。協議会での議論は架空の話だったが、3人の利用者さんの貴重な意見を重く受け止めたい。今後の議論の貴重な材料になる。運行についてかかった経費をぜひ出してもらいたい。12～2月の3ヶ月間実施したデータをふまえて今後考えていきたい。よろしくお願ひしたい。

他質問等ない為、終了とする。